

セラックニス

近年、私達の周りでは、化学製品の安全性や室内汚染、地球環境問題、SDGsが大きくクローズアップされています。

塗料も安全で環境への負荷を配慮した、人と地球にやさしい製品へとシフトしてきています。今だからこそ古く昔から私達にかかわりを持ってきた、塗料の原点ともいえるべき天然素材のセラックニスを有効に活用してみてもはいかがでしょうか。

セラックニスとは

タイ・インドを主産地とするラック貝殻虫という昆虫が植物に寄生して分泌した淡黄色の樹脂質を精製したもの（セラック）をアルコールにて溶解したもので、淡黄色または橙赤色の塗料であります。

また、セラックは昆虫が植物を介して生まれた天然樹脂ですので、その安全性から食品、果実、医薬品のコーティングとして世界的に使用されています。

（弊社のセラックニスは食用ではありませんのでご注意ください）

セラックニスの3大特長

① 塗りやすく、乾燥性に優れています。

- 希釈なしで刷毛塗り、スプレー塗りなどいずれの塗装も可能です。
- 速乾性で塗装後30分～1時間で研磨、上塗りができ作業性に優れ、工程時間の短縮が図れます。

② 吸い込み防止、ヤニ止め、にじみ止め効果に優れています。

- セラックニスはアルコール系溶剤以外には溶解しにくいいため、ステインの色押さえやラッカーなどの下塗りに用い、上塗り塗料の吸い込み防止に最適です。

※セラックニスは茶褐色の為、ステインの色押さえについては事前に試し塗りをを行い、発色を確認した上でお使いください。



色押さえ工程 無 | 有

③ 合成樹脂塗料にない特性が仕上がりを引き立てます。

- 塗膜は、滑らかで硬く、弾力性があり木質に対して密着性が優れています。
- シルクトーンの落ち着きのある仕上がり感を持った表面が得られます。
- 乾燥後は他のものに付着しない不粘着性に優れます。

セラックニスの用途

① 木造住宅の建具枠、建付け家具の内外部、窓枠、回り縁、幅木等の木部下塗りおよび上塗り用。

- 木材の導管をワックス分の目止め効果が、上塗りの吸い込みや目ヤセを押さええます。

② 木材の節止め、ヤニ止め用。

- 節やスギ、松材などの赤みの部分には、ヤニが滲出する恐れがあります。アルコールのみに可溶なセラックニスを使用しますと、べた付きのない仕上がりが見られます。

③ オイルステイン等の色のにじみ押さえ用。

※セラックニスは茶褐色の為、ステインの色押さえについては事前に試し塗りをを行い、発色を確認した上でお使いください。

④ 楽器の塗装に

- 高級弦楽器の音響板には現在でも使用されています。

荷姿

品名	容量	ホルムアルデヒド 放散等級	荷姿	仕上り感
元板 (サクラベニヤ)				
赤レットセルラックニス	15kg	F★★★★ (H01094)		
白レットセルラックニス	15kg	F★★★★ (H01094)		
黒レットセルラックニス	15kg	F★★★★ (H01094)		
黒色セルラックニス	15kg	F★★★★ (H01095)		
セルラックニス	3kg×4缶	F★★★★ (H01094)		
	1.5kg×6缶			

【赤レット、白レット、黒レットの表記について】

ニスの樹脂割合の多、中、少を表しています。赤レットが樹脂割合一番多く、次に多いものが白レット、一番少ないものが黒レットとなります。また、セルラックニス (3kg、1.5kg) は白レット相当になります。

ホルムアルデヒド放散等級欄のF★★★★、下段の(H×××××)は日本塗料工業会のホルムアルデヒド放散等級登録番号です。

ホルムアルデヒド放散等級の最新内容の確認については 日本塗料工業会ホームページ(<https://www.toryo.or.jp/>)を参照してください。

仕上り感に関しましては下地の材質によりかなり変化します。また、印刷での差異を見せるために誇張しておりますので、参考程度にご覧ください。

(サクラベニヤより柔らかい部材は吸い込みがありますのでこの写真より濃い仕上り感になります。)

塗装方法

ラッカー着色透明仕上げによるセラックニス下塗り塗装工程例

1. 素地調整



① 処理前

① 処理前



② 漂白処理

- 過酸化水素による漂白
木材を均一な色調に調整します。



② 漂白処理



③ 漂白終了

- 漂白剤を十分に水洗し、ぬれたウェスで拭き取り乾燥させます。



③ 漂白終了



④ 研磨



④ 研磨

- 研磨紙150～180番を用いて、汚れを除去し平滑に研磨します。



2. 着色 (オイルステイン)

2. 着色 (オイルステイン) ※オイルステイン (着色剤) は当社では販売しておりません。

- ステインをよく混ぜて均一にします。
- 着色むらを生じないように刷毛塗りまたは吹き付け塗りをを行います。
- 塗り付け後、材料が乾ききらないうちに余分な着色剤を拭き取ります。
- 24時間以上乾燥させます。



3. 刷毛慣らし

- セラックニスを刷毛の2/3まで含ませます。
- 刷毛をセラックニスでよく慣らしませます。
- 余分な塗料は容器の縁でしごきます。



3. 刷毛慣らし



4. セラックニスの下塗り

- セラックニスは乾燥が速いので、刷毛さばきは棒塗り法が適します。
- 刷毛幅の1/3くらいを塗り重ね、繊維方向に塗料を置くような気持ちで塗り付けます。
- 刷毛塗り 1～2回



4. セラックニスの下塗り



5. 研磨

- 研磨紙180～240番を用いて、毛羽取り程度に平滑に研磨します。



5. 研磨



6. 仕上げ (ラッカークリヤー)

- ワニス刷毛を用いてできるだけ木目に沿って軽く塗りつけます。
- 刷毛塗り 2～3回



6. 仕上げ (ラッカークリヤー)

使用方法

1. 塗装方法
ワニス刷毛またはスプレーにて塗装してください
2. 希釈
 - 無希釈で塗装してください。
 - 溶剤が揮発し、粘度が高く塗りにくい場合は、アルコールで希釈してください
3. 使用量
 - 1回塗りで、1㎡に0.08～0.10kg。
 - 塗装回数は、1～2回
 - 厚塗りしますと乾燥が悪くなったり、上塗り塗料の密着が悪くなります。
4. 乾燥時間
 - 乾燥時間は、30分から1時間です。

施工上の注意事項

1. 使用前によく攪拌してください。
溶液の中に白い澱みがあります。これは1～30ミクロン程度の蠟分です。この成分が木部の細かい孔をふさぎ目止め効果をもたらします。品質には問題ございません。
2. 塗装時の温度に注意してください。
 - 塗装時の湿度が80%前後になりますと、塗膜が白くなるブラッシング現象が発生する場合があります。
この場合は、高沸点アルコール又はラッカー用リターダーシンナーを1～3%位添加しお試しください。
なお、改善が見られない場合は、塗装を見合わせてください。
3. オイルステインの色押さえに使用する場合
 - ステインの上に塗装する場合には、ステインを良くふき取り、充分に乾燥させてから塗装してください。白ボケ、密着不良などの原因になります。
4. セラックニスの塗膜は耐水性が弱いので屋外には不向きです。
5. セラックニスは質感のある艶有りに仕上がります。
艶消し剤等による艶調整は出来ませんのでご注意下さい。
6. 開缶後は早めにご使用してください。
 - 古くなりますと、色が濃くなったり、乾燥が悪くなったりしますので、開缶後は早めにご使用してください。
7. 施工時には、引火・爆発・中毒等の事故防止の為、充分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶接との並行作業は避けてください。
8. **天然由来の原材料を元に製造しているため、ロット毎に製品の状態や色味に差が生じる場合がありますが、製品の品質及び使用については問題ございません。**

*取り扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照下さい。
*詳細な内容が必要な場合には、製品安全シート(SDS)をご参照下さい。
*製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます

●お問い合わせは.....



東日本塗料 株式会社



本社/〒124-0006	東京都葛飾区堀切3丁目25番18号	TEL. 03(3693)0851(代)	FAX. 03(3697)2306
埼玉工場/〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1丁目13番地	TEL. 0480(65)1515(代)	FAX. 0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野1丁目4番20号	TEL. 022(291)7372(代)	FAX. 022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871	新潟市東区山木戸3丁目7番9号	TEL. 025(273)5749(代)	FAX. 025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037	静岡市駿河区下島128番地-1	TEL. 054(238)8061(代)	FAX. 054(238)8063